

令和2年度事業の行政評価(内部評価)

企画部

広聴・広報課

事業名	観光											
根拠法令	—					計画等	中野区都市観光ビジョン (平成26年6月策定)					
予算科目	款 4 項 5 目 3 事務事業 1 事業 観光											
事業分類	区独自の事業					評価基準	有効性・効率性・適正性					
事業の 始期-終期	開始	平成25年度	経過年数	8年	終了予定	—	事業方式	その他				
事業概要	対象者	区民、来街者										
	目的(効果)	歴史・文化・商業・飲食といった中野の都市機能や来街者と地域の人々との交流が、中野ならではの魅力とに ぎわいを生み出しており、来街者が国内外から訪れている。										
	実施内容 (2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○ まちめぐり博覧会の中止 新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、実行委員会が博覧会を中止した。 ○ 観光情報発信サイト「まるっと中野」の運用 区内飲食店を応援するお持ち帰り&出前推進事業を実施した。 年間サイト閲覧数1,291,044件 SNS(フォロワー数 令和3年3月末現在、Twitter 833、Facebook 1,340、Instagram 556)による情報発信 ○ 中野区観光ガイドマップの作成 哲学堂公園が国の名勝指定を受けて、哲学堂公園周辺を紹介する観光パンフレットを14,000部作成。区有施設、中野ブロードウェイ・中野サンモール商店街、都庁観光情報センター、哲学堂公園などで配布したほか、区立小学校の高学年にも配布。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により外国人の来訪が期待できないことから、日本語版のみを作成した。 ○ Nakano Free Wi-Fi運用 アクセスポイント：中野駅北口駅前広場ほか10か所 利用者数：524,659人 周辺エリアマップ 5言語対応(日・英・韓・繁体・簡体)・中野駅北口周辺ほか5エリア 										
元年度時点の 事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区内の大規模イベントが増えていることから、イベント情報や区の魅力発信を強化し、さらなる来街者増を図る必要がある。 ○ 観光サイトの新たなコンテンツの活用や区民レポーターによる投稿記事を増加し、年間閲覧者数を増加し、中野区への興味と来街意欲を高める必要がある。 											
行政コスト 計算書	科目 (単位：千円)	30年度	元年度 A	2年度 B	差額 B-A	科目 (単位：千円)	30年度	元年度 A	2年度 B	差額 B-A		
	費用(a)	49,282	49,326	42,943	△ 6,383	収益(b)	0	0	0	0		
	人件費	28,781	28,781	28,781	0	分担金・負担金	0	0	0	0		
	物件費	13,544	15,545	14,162	△ 1,383	使用料・手数料	0	0	0	0		
	(委託料)	(13,453)	(15,368)	(14,101)	(△ 1,267)	国庫支出金	0	0	0	0		
	維持補修費	0	0	0	0	都支出金	0	0	0	0		
	補助金等	6,957	5,000	0	△ 5,000	その他	0	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	0							
	減価償却費	0	0	0	0	行政コスト	49,282	49,326	42,943	△ 6,383		
	その他	0	0	0	0	(c)=(a)-(b)						
行政コスト 計算書の説明	主な科目	決算額の内訳					増減理由					
	物件費	なかのまちめぐり博覧会開催経費(クルトン中野 クリーニング等) 121千円					なかのまちめぐり博覧会中止に伴う実行委員会への負担金 (未執行) △5,000千円 なかのまちめぐり博覧会会場使用料等(未執行) △822千円					
物件費 (委託料)	都市観光情報発信事業 4,032千円 観光ガイドマップ作成委託 850千円 Nakano Free Wi-Fi運用 9,219千円					<ul style="list-style-type: none"> ○ 都市観光情報発信事業 観光情報サイトの一部改修による増 57千円 ○ 観光ガイドマップ 区全域マップ作成経費皆減等 △2,911千円 ○ Nakano Free Wi-Fi 登録情報のセキュリティ強化に伴う改修 2,087千円 						
従事 職員 数内 訳			30年度		元年度		2年度					
	常勤		3.5	人	3.5	人	3.5	人				
	短時間		0.0	人	0.0	人	0.0	人				
	会計年度任用職員等		0.0	人	0.0	人	0.0	人				
計		3.5	人	3.5	人	3.5	人					

指 標 (実績の () は前年度比増減率、単位%)		30年度 実績	元年度 実績	2年度		
				計画	実績	
活動実績	まちめぐり博覧会イベント数 (回)	81	89 (9.9)	80	中止	(—)
	Nakano Free Wi-Fi利用者数(延べ人数) (千人)	1,172	1,261 (7.6)	1,300	525	(△58.4)
	観光情報サイト年間閲覧数 (千件)	1,051	756 (△28.1)	1,200	1,291	(70.8)
単位コスト	イベント開催1日あたりのコスト (円)	33,648	26,304 (△21.8)	—	—	(—)
	行政コスト/イベント開催延日数	347日	425日			
	Nakano Free Wi-Fi 利用1回あたりコスト (円)	7	7 (△5.4)	11	21	(195.7)
	行政コスト/利用者数(延べ人数)					
	観光情報サイト閲覧1回あたりコスト (円)	12	14 (20.7)	21	8	(△41.4)
事業の 効果	まちめぐり博覧会来場者の数 (人)	125,603	160,734 (28.0)	180,000	中止	(—)
	Nakano Free Wi-Fi利用者伸び率 (%)	163.0	108.0 (△33.7)	120.0	42.0	(△61.1)
	観光情報サイト年間閲覧数伸び率 (%)	99.0	72.0 (△27.3)	150.0	171.0	(137.5)
	まちめぐり博覧会を知っている人の割合 (%)	—	— (—)	—	15.0	(—)
	Nakano Free Wi-Fi利用者満足度 (%)	—	— (—)	—	15.8	(—)
	観光情報サイトの認知度 (%)	—	— (—)	—	26.3	(—)
元年度と比較した 主な増減理由・計画 達成状況の分析など	<p>○ まちめぐり博覧会は、実行委員会が新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、中止した。また、博覧会の一般認知度は低い。</p> <p>○ 観光情報サイトは、お持ち帰り&出前推進事業の記事掲載により、ページ閲覧数が増加し、当初計画を上回る結果となった。企画内容を工夫することで、サイトへのアクセスが増加することが明らかとなったが、サイト自体の認知度は低い。</p> <p>○ Nakano Free Wi-Fiは、利用者数が大幅に減少している。また、利用者の満足度が低い。</p>					
評価	有効性 (活動実績分析)	<p>○ まちめぐり博覧会の認知度は低い。また、令和元年度までもイベント数や来場者が増加しているが、実際にまちを巡りながら、商品を購入するなどの行動にはあまりつながっていない。</p> <p>○ 観光情報サイトは閲覧数が増加している一方、認知度は低い。</p> <p>○ Nakano Free Wi-Fiは、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少している。また、利用言語は96%が日本語であり、来街者やインバウンドではなく、区内在住者によるものがほとんどである。さらに、利用者満足(利用しやすさ)が15.8%と低い。</p>				
	効率性 (コスト分析)	<p>○ 新型コロナウイルス感染症の影響によりまちめぐり博覧会を中止したことなどに伴い、執行率は70.6%にとどまっている。</p> <p>○ 関連部署である広聴・広報課(特にシティプロモーション係)との連携を深めることで、効率性を向上する余地があった。</p>				
	適正性	<p>○ まちめぐり博覧会は、実行委員会により実施されており、区は補助金の交付など支援をおこなっている。観光業務についての官と民の役割分担は適切である。</p>				
次年度予算編成 に向けた評価	【方向】 改善(縮小)	<p>【理由】</p> <p>○ まちめぐり博覧会は、今年度は事業予算を計上せずに、実行委員会ではなく区が実施しているナカノミライプロジェクトにおけるワークショップで博覧会の企画を行う。この実施内容と結果を踏まえながら、次年度以降の展開を実行委員会と協議・調整していく。</p> <p>○ 観光情報サイトは、閲覧数は増加しているが、決して多い数値ではなく、また認知度が低い。よって、現在の専用WEBサイトの運営委託をやめ、区ホームページに観光関連ページを作成し、現在、好評な企画や閲覧数が比較的多いコンテンツを移行するとともに、モバイルスマートフォン推進財団が運営する無料の観光サイトを活用することを検討する。</p> <p>○ 観光を主目的として導入したNakano Free Wi-Fiは、区内在住者による利用がほとんどであり、また、利用者満足度が低い。さらに、コンビニエンスストアなどのFree Wi-Fiが利用できるなどWi-Fiの利用環境が変化している。よって、中野区としてのWi-Fiの提供のあり方を見直す。</p>				